

会社案内

2025 — 2026

株式会社良品計画

〒112-0004 東京都文京区後楽2-5-1 住友不動産飯田橋ファーストビル

<https://ryohin-keikaku.jp>

Ryohin Keikaku Co., Ltd.

Iidabashi First Building 2-5-1 Koraku, Bunkyo-ku, Tokyo, 112-0004, Japan

<https://ryohin-keikaku.jp/eng/>



企業理念

「人と自然とモノの望ましい関係と心豊かな人間社会」を考えた商品、サービス、店舗、活動を通じて「感じ良い暮らしと社会」の実現に貢献する。

二つの使命

1. 日常生活の基本商品群を誠実な品質と倫理的な視点から開発し、使うことで社会を良くする商品を、手に取りやすい価格で提供する。
2. 店舗は各地域のコミュニティセンターとしての役割を持ち、地域の皆様と課題や価値観を共有し、共に地域課題に取り組み、地域への良いインパクトを実現する。

根本方針

提供する商品、サービス、活動を通じて、資源循環型・自然共生型の社会、持続可能な社会の実現に貢献する。社会や人の役に立つ、という根本方針のもと、社員および事業関係者一人一人が、社会全体や地球でいま起きている課題に敏感に呼応し、すべての事業分野において提供する商品、サービス、活動それぞれの全ライフサイクルにわたり、地球環境負荷の低減や個人の尊重に努める。

経営方針

オーナーシップを持った社員を事業活動の主役に据え、地域に根差した個店の活動、個々の社員や事業関係者の活動が公益に寄与する公益人本主義経営を実践する。

企業価値向上

活動の結果として、高い収益構造をつくり、正しく納税し、適正な株主還元を行う。さらに、ステークホルダーの皆様と、社会への良いインパクトを共創することを目指し、長期的な企業価値向上に努める。

社長メッセージ



当社は、1980年に「わけあって、安い。」をキャッチコピーに、従来の商品の規格からすると少し外れてしまうような商品の企画からスタートしました。大量消費社会のアンチテーゼとして、創業以来「素材の選択」「工程の点検」「包装の簡略化」の3つのわけを守りながら、実質本位の商品をつくり続けています。

現在、SDGsの達成に向けて多くの国や企業が取り組んでいる状況です。一方で、当社におけるSDGsは今に始まったことではなく、創業当初から3つのわけを取り入れた商品づくりと、社会課題解決の側面から防災の啓発や廃校の活用など、さまざまな活動を行ってきました。

そして、2021年9月に「第二創業」を掲げ、商品、サービス、店舗、活動を通じて、「感じ良い暮らしと社会」の実現を目指し、従業員が一丸となって取り組んできました。

今後は、さらなるグローバルでの事業展開を進めてまいります。各国における「無印良品」の認知度やイメージには偏りがあります。今後の戦略を考えるうえで、無印良品の原点である考え方を再度見つめ直し、携えながら、丁寧なコミュニケーションをしていくことが重要と考えています。

私には夢が2つあります。それは、簡素が豪華に引け目を感じることなく、その簡素の中に秘めた知性や感性がむしろ誇りに思えるような世界になること、従業員が大事な人と、大事なことをいたわることのできる個人の時間をきちんと確保し、働く場所がわくわく感とプライドに満ち溢れたものにすることです。

これらの夢を胸に、暮らしを営むすべての皆様と、世界中で成長に挑戦するすべての従業員とともに、当社は「感じ良い暮らしと社会」の実現に向けて進んでまいります。

今後とも、ご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

清水 智

会社概要・役員

| | |
|--------|---|
| 会社名 | 株式会社良品計画 |
| 所在地 | 〒112-0004 東京都文京区後楽2-5-1 住友不動産飯田橋ファーストビル |
| ホームページ | https://www.ryohin-keikaku.jp |
| 設立 | 1989年6月（登記上 1979年5月） |
| 代表取締役 | 代表取締役社長 清水 智 |
| 資本金 | 67億6,625万円 |
| 決算日 | 8月末日 |
| 営業収益 | 7,846億29百万円（良品計画グループ 連結営業収益）※2025年8月期 |
| 従業員数 | 28,432名（臨時従業員等 14,520名を含む ／良品計画グループ）※2025年8月期 |

| | |
|-----------|--------------------------------------|
| 役員 | |
| 代表取締役社長 | 清水 智 |
| 取締役上席執行役員 | 高橋 広隆 / 宮澤 高浩 / 横濱 潤 |
| 社外取締役 | 吉川 淳 / 伊藤 久美 / 加藤 百合子 / 山崎 繭加 / 東 和浩 |
| 常勤監査役 | 鈴木 啓 |
| 常勤社外監査役 | 山根 宏輔 |
| 社外監査役 | 新井 純 / 菊地 麻緒子 |

無印良品について



1980年当初の40品目

無印良品の誕生は1980年。 起点はものの生産プロセスを徹底して合理化することで簡潔で気持ちのいい低価格商品を生み出すことでした。**「素材の選択」「工程の点検」「包装の簡略化」**を通して見つめ直した実質本位の商品をつくり続けています。**1983年に東京・青山に無印良品の単独店を出店、**ものづくりから店舗環境、スタッフの接客まで、一貫した思想のもとで推し進め、気持ち良くお買い物をしていただける空間を目指してきました。

現在※、無印良品は、**世界28の地域に1,400店舗以上を展開し、**商品アイテムも、衣料品や生活雑貨、食品、そして家まで揃えました。しかしその思想の根幹は誕生当時と変わらず、北をさす方位磁石のように、**生活の「基本」と「普遍」**を指し続けています。

※2025年8月末現在

無印良品の商品開発について

3つのわけ

無印良品のものづくりの基本となる考え方は、1980年のブランド創生以来変わっていません。環境・社会に配慮した3つの視点、①**素材の選択**、②**工程の点検**、③**包装の簡略化**、を守りながら商品をつくり続けています。地球環境や生産者に配慮した素材を選び、すべての工程において無駄を省き、本当に必要なものを本当に必要なかたちでお客さまに提供することを目指した、実質本位のものづくりです。

1 素材の選択

おいしくて健康にも役立つ食品、着心地よく身体になじむ衣服、使い勝手を第一に考えた生活雑貨など、ふだん見過ごしがちな基本のものづくりのために素材を見直します。品質は変わらないのに見栄えのためだけに捨てられているもの、業務用の素材、世界中から見つけた原材料や、安価で大量に確保できる旬のものなどを生かして、低価格で質の良い商品を提供します。

2 工程の点検

ひとつの商品ができるまでのプロセスを徹底的に点検します。例えば、選り分けたり、大きさを揃える手間をなくし、規格外のサイズやかたちが理由で捨てられていたものも商品にします。不揃いのままだったり、つや出しせずに仕上げたり、商品本来の質に関係のないムダな作業を省いて必要な工程だけを活かしています。素材をムダなく活用し、コストダウンにもなる、実質本位のものづくりです。

3 包装の簡略化

無印良品のすべての商品は、誕生以来、成り立ちのわけが印刷されているパッケージかタグがついているだけで店頭に並んでいます。包装が必要なものは、まとめて一括包装にしたり、共通容器に入れるなど、過剰な包装をしていません。地球の資源をムダにせず、ごみを減らす取り組みを続けています。



良品計画の歩み

良品計画
の視点

商品の
進化

店舗・
サービスの
進化

沿革

1980 - 2000

モノの在り方

「素材の選択」「工程の点検」「包装の簡略化」という3つの視点から、ムダを省き、生活者にとって本当に役に立つ商品の開発を目指しました。

ムダを削ぎ落とした商品



2001 - 2015

暮らしとモノの関係

「これがいい」というような強い嗜好性を誘う商品ではなく、「これでいい」という理性的な満足感をお客さまに提供いただくことを目指しました。

生活のあらゆるシーンに拡大



2016 - 2020

感じ良いくらし

「良心とクリエイティブ」で生活を簡素に美しく整える、機能的・合理的な商品の提供とともに、やすらぎを感じる暮らしを提案し、社会課題の解決に貢献してきました。

暮らしを整える商品



2021 -

「感じ良い暮らしと社会」、その先へ

環境にも、生産者にも、地域にも役に立つ、本当に必要な商品だけを、手に取りやすい価格で提供し、地域とともに、生活・文化・環境の共存と発展に貢献していきます。

社会に寄り添う商品



国内外への出店開始



旗艦店舗・新規サービスの立ち上げ



暮らしに寄り添うサービスの拡充



社会を良くするプラットフォームを目指して



- 1980 株式会社西友ストアのPB商品「無印良品」誕生（家庭用品9品目／食品31品目）
- 1983 直営1号店「無印良品 青山」オープン
- 1989 株式会社良品計画設立
- 1991 ロンドン1号店出店（英リパティ社とパートナーシップ契約）
- 2000 東京証券取引所市場第一部指定

- 2001 「無印良品 有楽町」オープン（※2019年クローズ）
- 2005 無印良品(上海)商業有限公司設立
- 2013 スマートフォンアプリ「MUJI passport」スタート
西日本の旗艦店「無印良品 グランフロント大阪」オープン
- 2014 中国・成都「無印良品 成都遠洋太古里」オープン
- 2015 中国・上海「無印良品 上海淮海755」、米国・ニューヨーク「MUJI Fifth Avenue」オープン

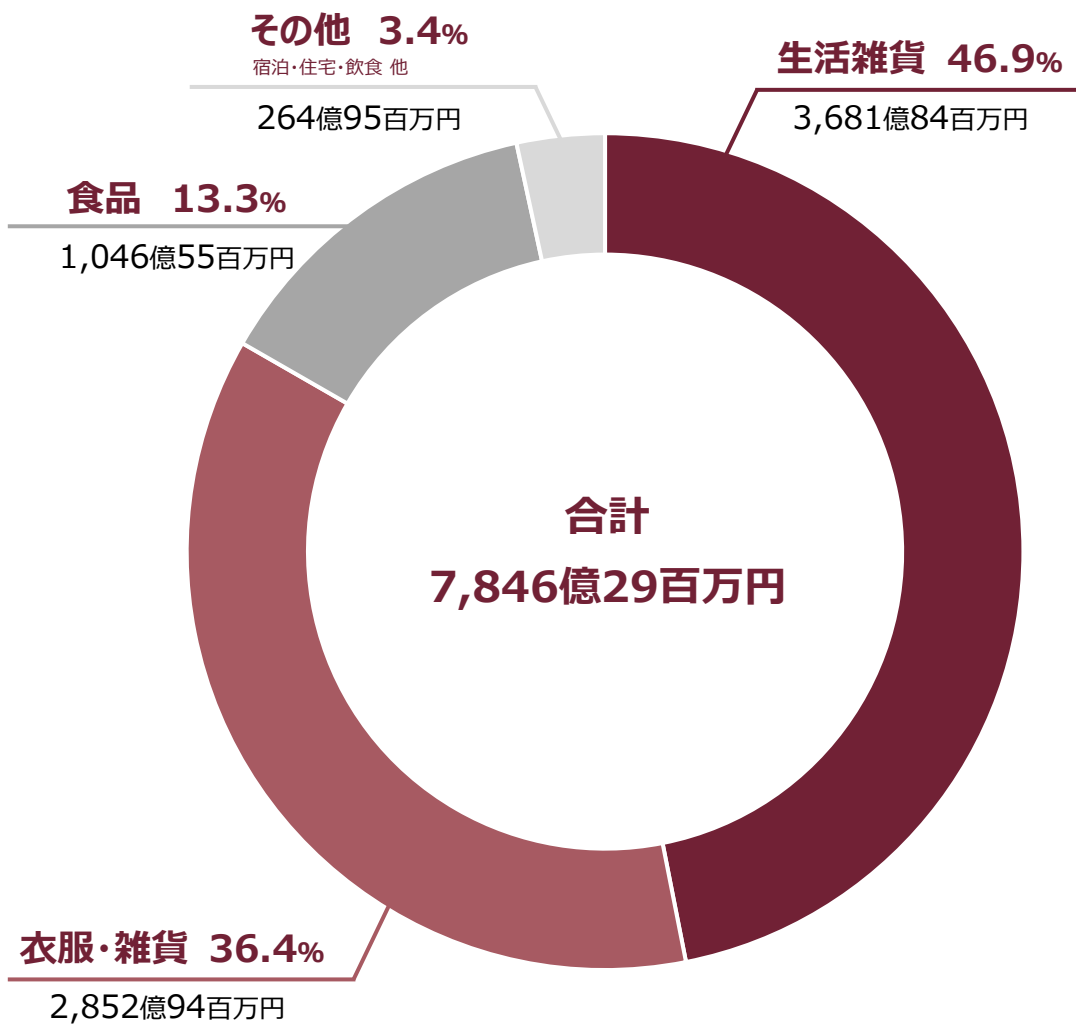
- 2016 日本の小売業として初めてインドに出店
- 2017 中国・深圳「MUJI HOTEL SHENZHEN」開業
- 2018 駅空間のデザインを手掛けた「京阪枚方市駅」完成
- 2019 世界旗艦店「無印良品 銀座」、「MUJI Diner」、日本初「MUJI HOTEL GINZA」オープン
- 2020 「無印良品 直江津」、「無印良品 東京有明」オープン

- 2021 第二創業として新たなスタート
- 2022 新業態「無印良品 500」開始
- 2023 遊休不動産を活用した宿泊施設「MUJI STAY」開始
- 2024 無印良品初の木造建築店舗オープン
カンボジア、インドネシア、インドに開発・生産管理の現地法人設立
- 2025 循環推進の拠点となる大型店「無印良品 イオンモール橿原」オープン/MUJI ENERGY設立

営業収益・営業利益

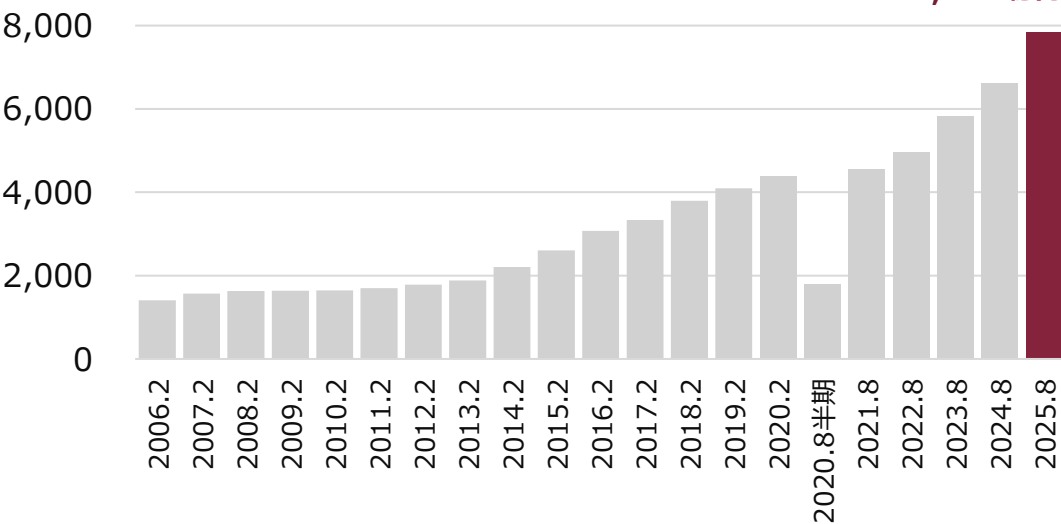
(2025年8月期) ※良品計画グループ連結

商品別営業収益構成



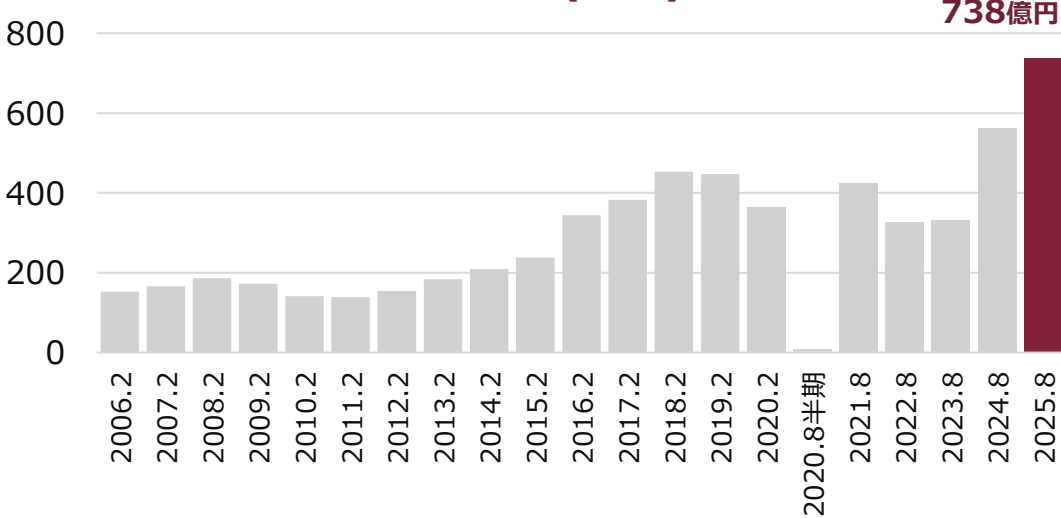
営業収益(億円)

7,846億円



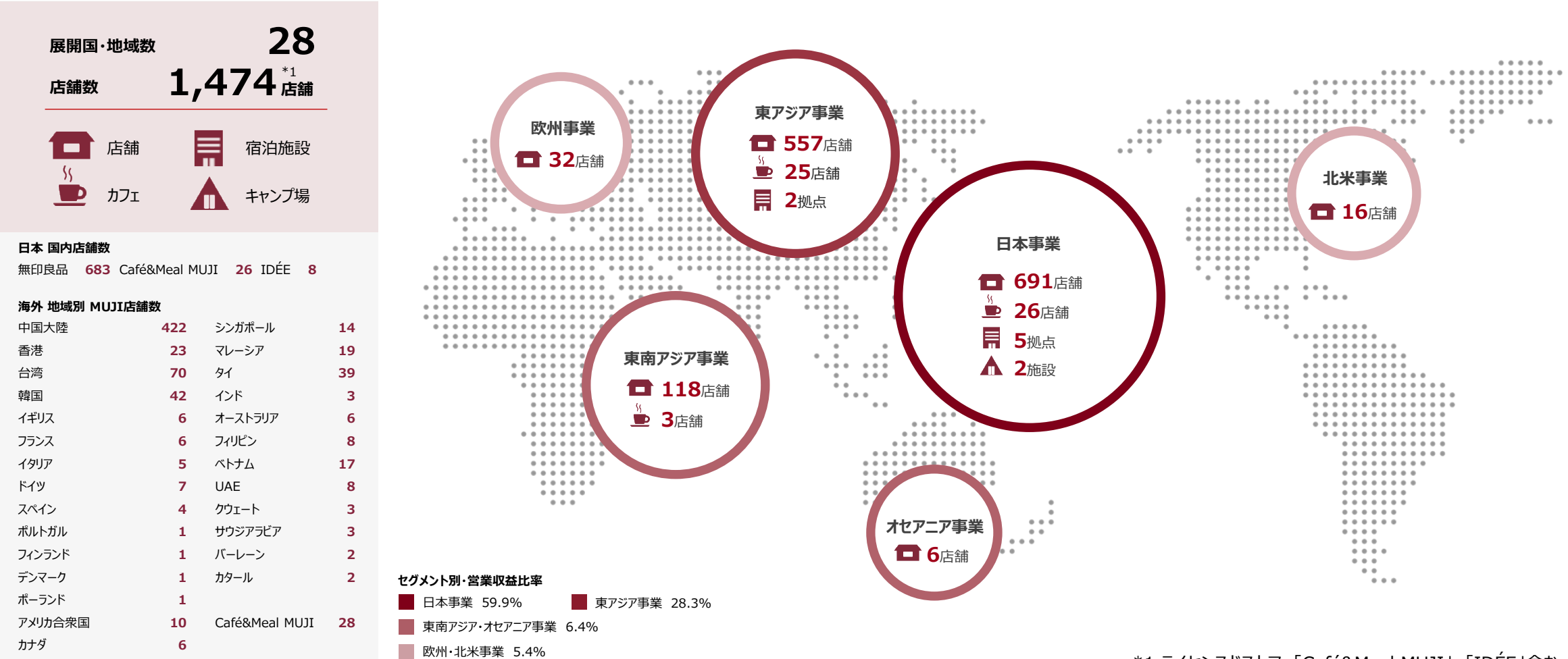
営業利益(億円)

738億円



グローバルネットワーク

国内では「無印良品」、海外では「MUJI」として、直営店事業と卸事業を展開しており、日本を含む28の国・地域で1,400店舗以上となっています。
各地域のライフスタイルに合わせた現地開発の商品・サービスを充実させることで、地域に根差したビジネスモデルを確立していき、そのための現地従業員の採用にも注力しています。



欧州事業

32店舗

東アジア事業

557店舗

25店舗

2拠点

日本事業

691店舗

26店舗

5拠点

2施設

北米事業

16店舗

東南アジア事業

118店舗

3店舗

オセアニア事業

6店舗

セグメント別・営業収益比率

■ 日本事業 59.9%

■ 東アジア事業 28.3%

■ 東南アジア・オセアニア事業 6.4%

■ 欧州・北米事業 5.4%

※2025年8月末現在

グループ企業

| | | | | | | |
|------------------|---|--|---|---|--|--|
| 日本 | 株式会社 MUJI HOUSE 所在地：東京都 主な事業内容：住宅販売 | 合同会社 MUJI ENERGY 所在地：東京都 主な事業内容：再生可能エネルギー事業など | | | | |
| 東アジア | 無印良品(上海)商業有限公司 所在地：上海 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI(HONG KONG)CO., LTD. 所在地：香港 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | 台湾無印良品股份有限公司 所在地：台北 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI Korea Co., Ltd. 所在地：ソウル 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | 愛姆吉斯（上海）貿易有限公司 所在地：上海 主な事業内容：商品調達 | |
| 東南アジア / オセアニア | MUJI(SINGAPORE) PRIVATE LTD. 所在地：シンガポール 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI(MALAYSIA)SDN. BHD. 所在地：クアラルンプール 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI Retail (Thailand)Co., Ltd. 所在地：バンコク 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | Ryohin-Keikaku Reliance India Private Limited 所在地：ムンバイ 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI PHILIPPINES CORP. 所在地：マニラ 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI RETAIL (VIETNAM) LIMITED LIABILITY COMPANY 所在地：ホーチミン 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 |
| | MUJI RETAIL (AUSTRALIA)PTY LTD 所在地：メルボルン 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI Global Sourcing Vietnam Company Limited 所在地：ホーチミン 主な事業内容：ASEAN域内におけるソーシング・生産品質管理 | MUJI GLOBAL SOURCING (CAMBODIA) CO.,LTD. 所在地：プノンペン 主な事業内容：商品の開発・生産管理 | PT MUJI GLOBAL SOURCING INDONESIA 所在地：ジャカルタ 主な事業内容：商品の開発・生産管理 | MUJI GLOBAL SOURCING INDIA PRIVATE LIMITED 所在地：バンガロール 主な事業内容：商品の開発・生産管理 | |
| 欧州 / 北米 | MUJI Europe Limited 所在地：ロンドン 主な事業内容：欧州における無印良品事業統括 | RYOHIN KEIKAKU EUROPE LTD. 所在地：ロンドン 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | RYOHIN KEIKAKU FRANCE S.A.S. 所在地：パリ 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI ITALIA S.p.A. 所在地：ミラノ 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI Deutschland GmbH 所在地：ベルリン 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI SPAIN, S.L. 所在地：バルセロナ 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 |
| | MUJI PORTUGAL, LDA 所在地：リスボン 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI Finland Oy 所在地：ヘルシンキ 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI Denmark ApS 所在地：コペンハーゲン 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI U.S.A. Limited 所在地：ニューヨーク 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | MUJI CANADA LIMITED 所在地：トロント 主な事業内容：「無印良品」の商品の小売 | |

事業紹介

良品計画
RYOHIN KEIKAKU

無印良品

IDÉE

製造小売



無印良品 / Found MUJI / 無印良品 500 / MUJI to GO / ネットストア

飲食

Café&Meal MUJI /
コーヒー & アイス(サービス) / その他



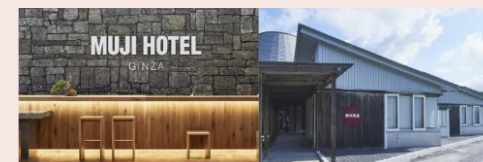
建築・空間設計

無印良品の家(戸建て) / リノベーション /
内装デザイン / 空間商材開発



宿泊

MUJI HOTEL / MUJI BASE /
MUJI room / MUJI Camp



「美意識のある暮らし」をコンセプトに、国内外のデザイナーとつくったオリジナル家具、セレクトしたテキスタイルやプロダクト、グリーン、音楽や本など幅広く紹介しています。直営店の「IDÉE SHOP」や一部「無印良品」の店舗内、ECサイトで販売しているほか、法人のお客さま向けに、コーディネート、空間プロデュース、ディレクション、デザイン業務を行っています。

無印良品事業 製造小売

製造小売



商品開発

衣料品、生活雑貨、食品の3つの部門にて、**生活に役立つ商品を適正価格で提供し、「生活の基本」を支えること**を目指します。

天然素材を活用した着心地のよいベーシックな商品群、毎日使うスキンケアやキッチンツールなどの日用品や再生素材を使用したプラスチック収納用品、規格外の素材を活用したお菓子や各地域の食文化に学んだ商品など、自然共生型・資源循環型のものづくりを進めています。



店舗運営

衣・食・住の生活の基本領域において、品質と「わけ」を磨き続けた商品を適正価格で提供し、**それぞれの店舗がその地域の皆様の役に立つ個店経営を推進することで、「感じ良い暮らしと社会」の実現に向けて取り組んでいます。**店舗は、天然素材「木・金・土」（木材、鉄、土や石）をベースとしたシンプルな内装や外観を基本コンセプトとしています。

無印良品事業 飲食

飲食

「素の食」のおいしさを楽しむ飲食事業

素材の味を生かした素朴でありながら洗練されているメニューや、未利用の素材を活用した食品を提供するカフェやレストランを、無印良品の一部の店舗に併設しています。

無印良品の商品とともに、安全・安心はもちろん、地域ならではの素材や季節の旬、多様な生活スタイルに合わせた食の楽しさとおいしさをお届けしています。

また人が集まり、つなげていく「食」の力を生かし、コミュニティスペースの構築にも取り組んでいます。

詳細 ▶ <https://cafemeal.muji.com/jp/>



無印良品事業 建築・空間設計

建築・空間設計

作り手と使い手がともにつくる、愛着を持ち続けられる空間

まち全体を“自分たちの住まう場”と捉えて、その土地の地域資源を生かしながら、多様な領域における空間をデザインしています。

そこで大切にしているのは、地球環境や地域の資源循環を考慮した素材選びや木材・鉄・土壁など自然素材を多く取り入れた建築設計、

そして使い手が愛着を持ち続けられる空間のための共創のプロセスです。

大規模木造建築物の設計/施工から、戸建住宅の販売、集合住宅のリノベーション、またオフィスや公共空間、宿泊滞在施設のデザイン、これらの空間に適したオフィス什器などの循環型商品の開発に至るまで、さまざまな場づくりを行っています。

詳細 ▶ <https://www.muji.net/construction/>



無印良品事業 宿泊

宿泊

くらしを見つめ直す無印良品の宿 -MUJI STAY-

MUJI STAYは「くらし」の概念を再定義することで、宿泊施設や住居のあり方を見直し、ライフスタイルそのものを変革するための試みです。遊休資産等を活用することで都市と地方、国内と海外を問わない複数の居場所を作り、自分らしい“くらし”を送れるようにすることを目指します。

各地に点在する店舗を起点としながら、風土や文化習慣に基づいた地域固有の素材や技術、体験などを取り入れ、訪れる人が新たな地域の魅力を発見できるようにしていきます。またその一方で、どのような地域や生活環境においても、快適に「くらし」の延長線上にいられるような、統一されたデザイン理念をもつ空間と生活用品を提供します。「MUJI HOTEL」「MUJI BASE」「MUJI room」「MUJI Camp」の4つの施設を展開しています。

詳細 ▶ <https://stay.muji.com/ja/>



その他事業

IDÉE

Life in Art , Life with IDÉE

イデーは1982年にスタートしたインテリアブランドです。「美意識のある暮らし」をコンセプトに、国内外のデザイナーとつくったオリジナル家具、雑貨、セレクトしたテキスタイルやプロダクト、ヴィンテージアイテム、グリーン、音楽や本など幅広く紹介し、直営店の「IDÉE SHOP」や一部「無印良品」の店舗内、ECサイトで販売しています。

また、“日常芸術”をテーマにアート(=文化)を広げるアートプロジェクト「Life in Art」では、有名無名、時代性を問わず、そのクリエイションに共感するアーティストや作家の作品紹介から、企画展、コラボレーション作品販売まで幅広い取り組みを行っています。多様な価値観や見立てで、美意識のある暮らしを育む「もの」や「こと」を提案しています。

詳細 ▶ <https://www.ideo.co.jp>



日常の暮らしを支える商品

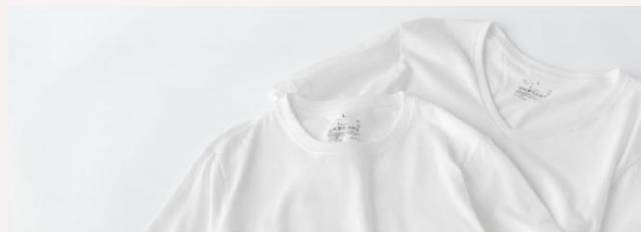
無印良品は、日常生活に役立つ、暮らしの基本となる品々を取り揃えています。毎日使うものだからこそ適正な品質と価格でより多くのお客さまに提供することを目指しています。

衣料品



洗いざらしシャツ

綿本来の風合いを生かすために、洗いざらして仕上げました。洗ったまま自然なしわを生かしても、きちんとアイロンをかけても着られる定番のシャツです。定番のベーシックデザインでより汎用性が高く幅広い着こなしが楽しめます。



綿100%インナー

肌なじみのよい綿素材のインナーです。肌への刺激や負担を最小限にするよう、丸胴編みで筒状に編み立て、脇の縫い目を無くし、洗濯表示をプリント仕様にするなど、細部まで着心地を追求しています。(一部除く)

生活雑貨



敏感肌用スキンケアシリーズ

「自然のもつ力」に着目した天然由来成分※1 100%で、岩手県釜石市の天然水を使用した低刺激性のスキンケアシリーズです。乾燥や刺激を感じやすい肌にも使い心地で選べる化粧水などを揃えています。

※1 天然成分を化学的に反応させた成分を含む



竹材100%ペーパーシリーズ

生長の早い竹をパルプの原料に100%使用しています。3年で育つ竹を原料として活用し、無漂白で仕上げたペーパーシリーズです。

食品



カレー

インドやタイに赴き、本場のカレー文化を学び、現地ならではのスパイスや調理方法を商品開発に生かしたレトルトカレーです。「素材を生かしたカレー バターチキン」は、これまでに5回の見直しを重ねながらおいしさの追求をしています。



不揃いバウム

焼きムラや変形など、おいしさに関係なくはじかれていた部分も生かしています。スティック状で食べやすく、バナナバウムや紅茶バウムなどの定番や桜バウムなどの季節限定フレーバーなど種類も豊富です。

店舗について



良品計画は、衣・食・住の生活の基本領域において、品質と「わけ」を磨き続けた商品を適正価格で提供すること、また、それぞれの店舗がその地域の皆様の役に立つ個店経営を推進することで、「感じ良い暮らしと社会」の実現を目指しています。

その店舗数は、日本を含む28の国・地域で1,400店舗以上となっています。

これからも、各国・地域の皆様の「役に立つ」存在となるために、商いを通じて「人と社会」に貢献することを目指していきます。

日本国内店舗数

※2025年8月末現在



無印良品 店舗

683店



Café&Meal MUJI 店舗※

26店

※Café&Meal MUJI / Café
MUJI / MUJI Diner 含む



IDÉE 店舗

8店

さまざまな店舗形態



Found MUJI

ものをつくるというよりは、「探す、見つけ出す」という姿勢で暮らしを見つめ、**世界中で永く使われてきた日用品**を揃えています。

もののエッセンスを残しつつ、現代の生活や文化、習慣に合わせて少しか改良し、適正な価格で再生していく活動を、これからも皆様と一緒に行っていきます。

<https://www.muji.net/foundmuji/>



無印良品
500

無印良品 500

毎日の暮らしに欠かせない日用品や消耗品を、**環境に配慮したものと500円以下を中心とした価格**で、インナーやキッチン用品、スキンケア用品、レトルト食品など、無印良品の衣料品・生活雑貨・食品の商品のなかから選びました。

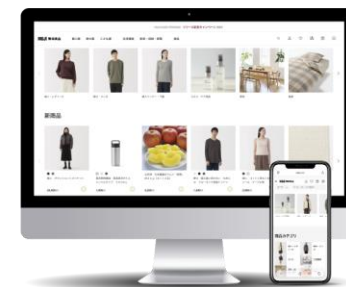


MUJI to GO

MUJI to GOは無印良品の商品から、**旅・移動・ビジネスなどに役立つアイテム**を厳選したショップです。

便利な機能付きの文具や旅行が楽しくなるグッズ、普段の暮らしをそのまま持ち運べるものなど、空港で出会うと楽しいアイテムが揃っています。

<https://www.muji.com/jp/mujitogo/>



MUJI 無印良品 ネットストア

自社ECサイト「無印良品ネットストア」の運営に加え、「Amazon」や「楽天市場」などの通販サイトへ出店することによって、**本当に必要なものを適切な品質と価格でより多くのお客さまに提供**し、さらなる利便性の向上を目指します。

<https://www.muji.com/jp/ja/store/>

「感じ良い暮らしと社会の実現」に向けて

無印良品の誕生から45年、思想の根幹は誕生当時と変わらず、活動の幅は大きく広がっています。

「社会や人の役に立つ」という根本方針のもと、「人と自然とモノの望ましい関係と心豊かな人間社会」を考えたさまざまな商品や、地域・社会の課題に役立つ活動やサービスを通し、これからの「感じ良い暮らしと社会」が広がる未来を描いています。

地域・社会に貢献する取り組み・活動



文化・伝統



防災



地域活性



資源循環



ヘルスケア



建築・空間設計



製造小売



飲食



宿泊



創エネルギー

地域・社会に貢献する取り組み・活動 ①



地域活性

無印良品の店舗にて、**地域の人々と協力しながら企画・運営**し、地域の出店者による食品や特産品の販売などのマーケット型イベント「**つながる市**」や、未出店の地域の皆様に商品を届ける「**移動販売バス**」、その土地ならではの 地域産品を店舗・ECサイトで販売する「**諸国良品**」、地域住民の対話の場「**タウンミーティング**」の開催など、地域の課題解決と活性化の一助となることを目指す活動を実施しています。



防災

予測できない災害に対し**日常から備えることが大切と考え、「いつものもしも」**を展開しています。災害時にも役立つ普段使いの商品の開発や防災グッズの販売、災害への対処法や日頃の備えに関する情報を発信しています。「**地域とつながる・楽しく学べる**」を**コンセプト**に、地域の行政、企業などと連携した子どもから大人まで楽しく防災を学ぶことができる地域一体型のイベント「**いつものもしもCARAVAN**」の開催、防災に関するワークショップなど実施しています。

地域・社会に貢献する取り組み・活動 ②



文化・伝統

「無印良品 銀座」にある「ATELIER MUJI」は、「暮らしの原点に立ち返り、未来へ進むヒントを見つける工房」というコンセプトのもと運営され、良品計画が考える文化の交差点として、アートやデザインなど多様なテーマから企画展やイベントを開催しています。ほかにも地域と協働したアートイベントなども開催し、文化やアート、伝統を継承するための活動を行っています。



ヘルスケア

地域の皆様の**健やかな暮らし**に関わる場となることを目指して、一部の店舗に気軽に身体の状態を測れるセルフ式の測定器具の設置、また**地域の自治体や医療機関などと連携し、健康をテーマにしたイベントやワークショップなど開催**しています。

地域・社会に貢献する取り組み・活動 ③



資源循環

全国の無印良品の店舗で不要となった衣料品やプラスチック製品等の回収を実施し、**使用済み製品を貴重な資源としてできる限り循環**させる取り組み「**ReMUJI**」を推進しています。衣料品については染め直しやリメイクによる再販売を行うとともに、回収したプラスチック製品をリサイクル原料へと再生し新たな製品の原材料として活用するなど、**リユースやリサイクル**したうえで商品に活用しています。



創エネルギー

製造小売をはじめとした事業を展開する企業として、**責任あるエネルギーの調達と環境負荷の低減**に取り組んでいます。2025年9月には、株式会社JERAと連携し、再生可能エネルギー発電事業会社「**MUJI ENERGY**」を設立しました。太陽光発電で創出した環境価値は、当社のCO₂排出量削減に活用しています。

国内トピックス (2025年8月期)



奈良県橿原市に世界最大の 店舗「無印良品 イオンモール 橿原」をオープン

2025年3月、奈良県橿原市に世界最大の売場面積となる無印良品の店舗「無印良品 イオンモール橿原」をオープンしました。良品計画は「店舗が地域のコミュニティセンターとしての役割を持ち、地域課題の解決に取り組む」ことを使命の一つに掲げています。同店舗は、「自然・循環・文化」をテーマに、「地域の人々のすこやかな集いの場を目指す」コミュニティセンターとして、奈良県を中心に、近畿圏全域の生産者や事業者の方々との交流を通じて、商品やサービスの開発、店舗づくりに取り組んでいます。

売場面積2,484坪となる店内では、無印良品の衣・食・住に関する幅広い商品を、暮らしのシーンごとに分けたゾーンで展開しており、色違い、型違い、サイズ違いの大型商品も本体からパーツまで実物を揃えています。また、循環推進の拠点として、資源回収やリユース品、わけあり品の販売に加え、無印良品店舗内では初となるリペア工房も併設しています。



初の共創開発商品として 「みんなでつくるバウム」を発売

良品計画は、食品において、食の楽しさとおいしさをお届けするべく、地域や生活スタイルの変化に合わせて商品を企画・開発しています。2000年より販売しているロングセラー商品のバウムシリーズにて、初めてお客さまや店舗スタッフと商品を共創開発しました。全国の無印良品店舗スタッフが、「食べてみたいバウム」をテーマにしたバウムのアイデアを考え、約250種のアイデアから、「地域で愛される食」をテーマにした8種類のバウムを選定。その中からお客さまに「食べてみたいバウム」をインターネット上で投票していただき、最も支持された5つのバウムを商品化しました。お客さまからの総投票数は75,420票にも上り、2025年2月に1位「小倉トースト風バウム」(東海地方)、2位「ずんだあんのドームバウム」(東北地方)、3位「不揃い 塩パン風バウム」(四国地方)を全国の無印良品で発売しました。また同年5月には第2弾として、4位「ハスカップバウム」(北海道)、5位「不揃い みたらし団子風バウム」(関西地方)も発売し、好評をいただいています。

海外トピックス (2025年8月期)



海外でスキンケア商品 「発酵導入シリーズ」、 「敏感肌シリーズ」の販売を開始

良品計画は、スキンケア商品において、使用する原料を厳選し、デリケートな肌に配慮した商品を手に取りやすい価格で提供しています。スキンケア商品をグローバルにおいても統一開発商品群として設定し、2024年5月に香港より、海外でも販売を開始しました。2025年には中国大陆をはじめ、タイ、台湾、シンガポール、マレーシア、ベトナム、オーストラリアへと展開を拡げてきました。

中国大陆では発酵導入シリーズを「米糠シリーズ」として打ち出し、全体としてヘルス&ビューティーカテゴリーの売上を大きく押し上げています。特に「発酵導入化粧液」が好評をいただいております、これらに合わせてヘアケア、ボディケアの米糠シリーズもお客さまの支持を得ており、中国大陆における無印良品のスキンケア領域での認知も広がっています。今後も展開する国・地域や取り扱い商品のラインナップを順次拡大してまいります。



タイ事業が「Retail Asia Awards 2025」で「ブランド・ ストア・オブ・ザ・イヤー賞」を受賞

2025年6月に「Retail Asia Awards 2025」授賞式がシンガポールで開催され、タイ事業(MUJI Retail(Thailand)Co., Ltd.)が「ブランド・ストア・オブ・ザ・イヤー賞(タイ)」を受賞しました。「Retail Asia Awards」は、アジア太平洋地域の小売業界においてビジネス、技術、卓越性などの分野で優れた業績を上げた企業を表彰するもので、2004年からアジア地域小売業界専門誌「Retail Asia Magazine」によって主催されています。今回、タイにある「MUJI One Bangkok」や「MUJI Central Chiangmai Airport」などの店舗がコミュニティセンターの役割を持ち、地域社会に根差した店舗運営を実現した小売業の新しいモデルを提示したことが評価されました。今後も店舗が各地域のコミュニティセンターとしての役割を持ち、地域の方と課題や価値観を共有しながら地域への良いインパクトを実現してまいります。

ESGトピックス (2025年8月期)



再生可能エネルギー発電事業 会社「合同会社 MUJI ENERGY」を設立

良品計画グループは、2030年までにグループ全体の温室効果ガス排出量(スコープ1,2)を2021年8月期比で50%削減することを目標に掲げています。2025年9月には、株式会社JERAとの共同出資により、太陽光発電設備の開発など再生可能エネルギー発電事業を行う特別目的会社「合同会社 MUJI ENERGY」を設立しました。「MUJI ENERGY」が生み出した電力はJEPX※¹に売電し、環境価値は、JERAの子会社である株式会社JERA Crossを通じ、バーチャルPPA※²により良品計画が全量を取得し、無印良品のテナント店舗の電力消費におけるCO₂排出量の削減等に活用します。自ら発電事業に関わることで、発電設備周辺の自然環境や住民への影響に配慮した設備用地を選定し、追加性のある環境価値を創出することを目指しています。

※¹ JEPX：日本卸電力取引所

※² 「バーチャルPPA」とは再生エネルギー由来の電力および環境価値のうち、環境価値のみを長期間にわたって供給する契約

※ 写真はイメージであり、MUJI ENERGYの保有設備ではありません



当社初となる 「ESG説明会」を開催

2025年5月に、機関投資家・メディアの方に向けた「ESG説明会」を開催しました。「本業＝ESG経営」の考え方のもと、資源循環の事業可能性や、衣服・雑貨、生活雑貨、食品の各部門における「環境・社会配慮型商品」について、社長や各部の管掌役員によるプレゼンテーションを行い、また実際の商品展示や試食を通してご紹介しました。



無印良品

水や空気のように。

洗濯された布が、ふりそぐ太陽の光を浴び、風にそよぎながら乾いていく様子は、誰もが記憶の中に宿している暮らしの原風景かもしれません。無印良品はそんな光景を探して、世界を旅してきました。そこには、おらかさや、質実さ、謙虚さ、そして人と自然のつながりを、豊かに感じさせてくれる風景がありました。時代がどんなに変わっても、人の幸せや暮らしの基本は変わりません。素の自分と肩の力を抜いて向き合える場所で、周囲の人々と共感で結ばれ、自然や万物とのつながりを感じながら、いかに健康で充足した日々を生み出していけるか。無印良品は、水や空気のように、そんな暮らしを支えるお手伝いを続けます。